

【Web開催】第28回 国公立大学情報システム研究会総会

活動報告

日 時：2020年3月5日（木）13：30～17：35

場 所：Web開催（自席から参加可能）

申し込み者数：86名

1. 総会内容

新型コロナウイルス感染症が拡大している状況を受け、参加者の皆さまの健康・安全面を第一に考慮した結果、皆様にお集まりいただく会議体での開催は中止とし、代わりにWeb会議システムを利用し自席からご参加いただきました。

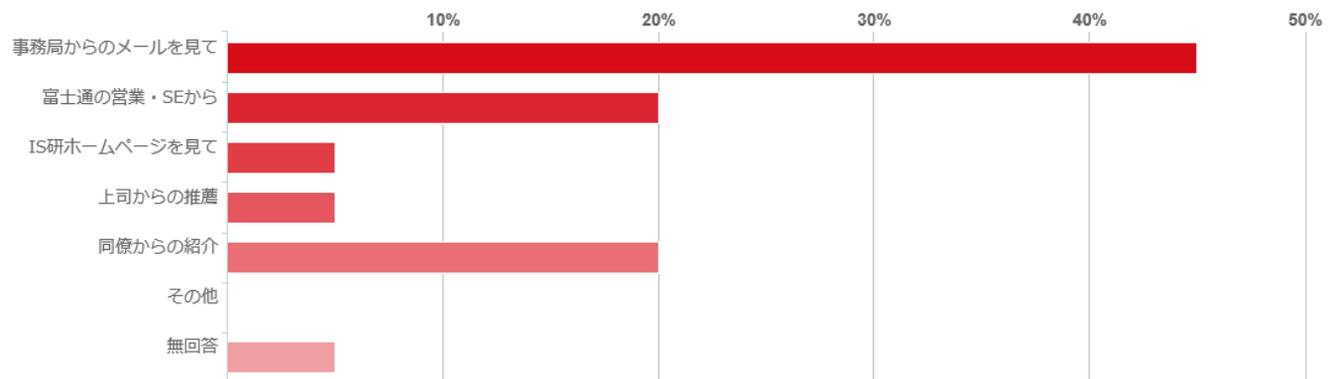
本総会では、論文発表（4件）、CS研からの報告、各ブロックからの事例発表（5件）を行い質疑応答の時間を設けディスカッションいたしました。

2. スケジュール

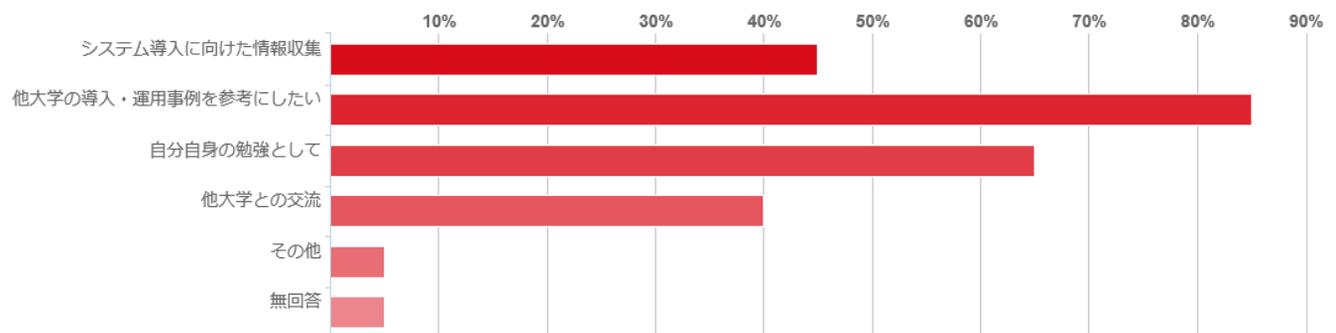
時 間	内 容
13:30～ (5分)	開会挨拶 IS研会長 大分大学 教授 吉田 和幸
13:35～ (5分)	議 事 IS研事務局
13:40～ (30分)	【論文①】 『兵庫県立大学の情報新システム（第IV期）の設計と構築』 兵庫県立大学 学術総合情報センター 准教授 林 治尚
14:10～ (15分)	【北海道ブロックからの事例発表】 室蘭工業大学 情報教育センター 教授 桑田 喜隆
14:25～ (30分)	【論文②】 『九州大学における教育データの利活用』 九州大学教育改革推進本部 特任教授 藤村 直美
14:55～	休 憩 (15分)
15:10～ (15分)	【東北・関東ブロックからの事例発表】 山形大学 情報ネットワークセンター 准教授 伊藤 智博
15:25～ (15分)	【北陸ブロックからの事例発表】 北陸先端科学技術大学院大学 情報社会基盤研究センター 准教授 本郷 研太
15:40～ (30分)	【論文③】 『宮崎大学新キャンパス情報システムの構築』 宮崎大学 情報基盤センター 准教授 青木 謙二
16:10～	休 憩 (15分)
16:25～ (30分)	【論文④】 『経年運用から見た金沢大学における緊急連絡システム（C-SIREN）の実績報告』 金沢大学 総合メディア基盤センター 特任助手 二木 恵
16:55～ (15分)	【近畿ブロックからの事例発表】 奈良女子大学 学術情報センター 副センター長 山下 靖
17:10～ (15分)	【九州ブロックからの事例発表】 長崎大学 ICT基盤センター ナレッジプラットフォーム部門長 准教授 一藤 裕
17:25～ (5分)	【CS研の活動について】 CS研会長 明治大学 教授 阪井 和男
17:30～ (5分)	閉会挨拶 IS研議長 横浜国立大学 教授 徐 浩源
17:35	閉 会

3. アンケート結果【回答数20】

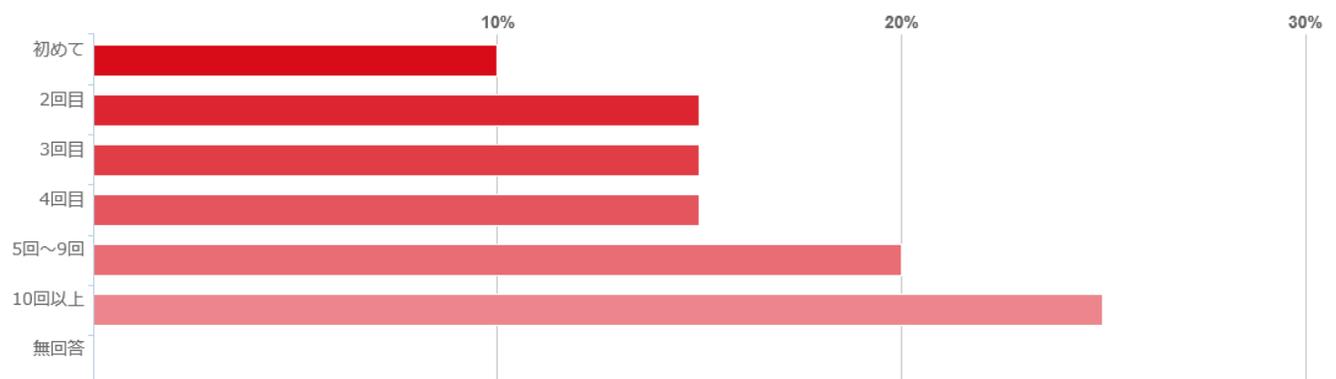
【Q1】IS研総会に参加しようと思ったきっかけを教えてください。



【Q2】総会への参加目的を教えてください。



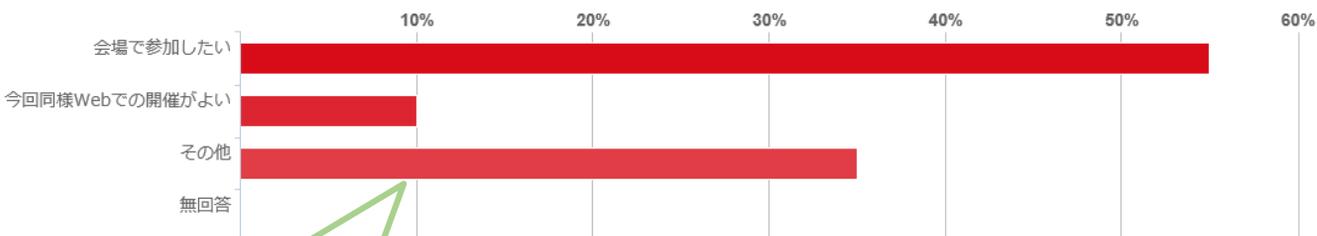
【Q3】IS研総会への参加は通算何回目ですか？



【Q4】今回、やむを得ずWEBでの開催といたしました。感想をお聞かせください。

- ✓ WEB会議での発表でも問題ないと思いました。懇親会は残念ですが。
- ✓ よかったと思います。
- ✓ 学内会議と日程が重なり出席できない予定でしたが、Web開催のため会議以外の時間に参加できました。大変ありがたかったです。
- ✓ 聴衆の反応がわからないので、うまく伝わったかどうかが不安です。
- ✓ 慣れていないので難しかった。発表中に聴講者の顔が見えないと話を理解してもらっているかがわからない。
- ✓ やはり対面の方がよいが、非常時開催としては、十分成立していると思った
- ✓ WEB開催はとても良かったと思います。
- ✓ 私のPCにはマイクもカメラもないので、スマホで参加しましたが、画像が小さく目が疲れるので、PCもつないでしまいました。
- ✓ 通信環境の進歩で、スムーズに総会の開催が無事に終了できて、WEB開催という手段も今後活用する方策を考えるきっかけになればと思います。
- ✓ Webex は発表者のカメラと画面共有が同時に配信されるのでなかなかよかったと思う。しかし質疑応答の盛り上がりには欠ける感じがした。
- ✓ 福岡からの参加ですので、すごく助かりました。
- ✓ 発表者にフィードバックする方法（コメントや拍手など）がまだつかめておらず皆とまどっていたようですが、だんだん慣れてゆくのだろうと思います。
- ✓ 良い判断と思いました。支障なく参加できました。
- ✓ 思いのほか？スムーズに進行されていた。
- ✓ 参加者との情報交換ができないのが残念でした。
- ✓ 発表時に、聴衆の方々の反応などが掴めない点はマイナスですが、出張に出かけなくて済むので、Web会議は便利だな、というのが正直な感想です。また、音声や画像的にも問題はなかったという印象です。
- ✓ 質問に慣れていない人が多かったようには思いますが、特に問題はなかったと思います。
- ✓ 感染の拡大を防ぐために必要であったと思います。

【Q5】今後のIS研総会の開催方法について以下よりお選びください。

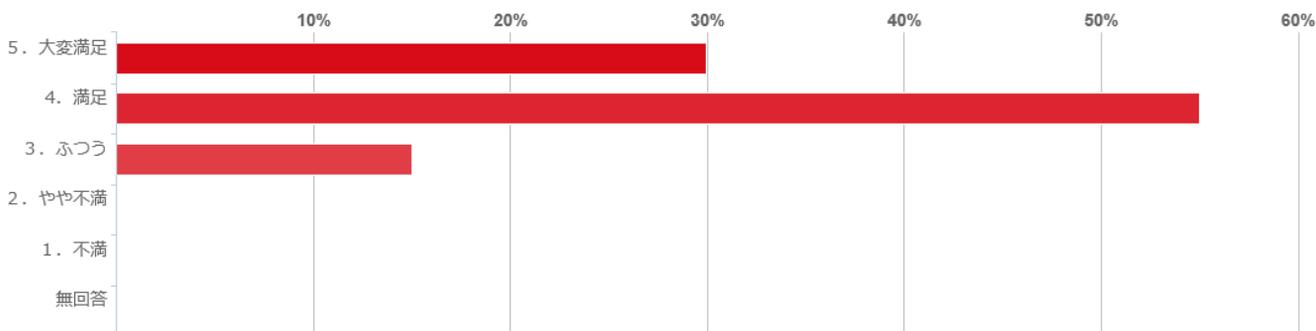


- ✓ 両方での参加が可能であれば面白いと思いました。
- ✓ 可能なら会場で。WEB開催も併用していただきたい。
- ✓ 両方あって良いと思います。
- ✓ どちらでもよい
- ✓ どちらも長所・短所があると感じています。
- ✓ 両方併用が嬉しいです。
- ✓ どちらも意義があるので選択できない

【Q6】上記を選んだ理由を、具体的にお書きください。

- ✓ できれば会場で参加したい。遠隔からの参加もできるハイブリッドな会議も良いかもしれませんね、
- ✓ ちょっとした話題で近くの方々と話し合えるから。
- ✓ 何らかの都合で現地に行けない場合もあるため
- ✓ Web開催でも情報収集が可能であることが明らかになったため。
- ✓ 直接会わないと交流が難しい。
- ✓ 雑談等、議事・発表以外の時間も重要なため
- ✓ 参加しやすいため
- ✓ 懇親会の場などで、もっと詳しい話を聞きたい。
- ✓ WEB開催で個別交流について不十分な点があると思います。
- ✓ 休憩時間の雑談や懇親会など総会以外での交流も重要だと思うため。
- ✓ webでの開催は気軽に参加できるという長所があり、会場での開催は知己を広げ情報交換するという長所があり、それぞれを選べるようになった現状は悪くないものと思います。ただ、懇親会が出来ないのは残念です。
- ✓ 会場で参加することにも良い部分がありますので、情勢を考慮しての開催が好ましいと思われる
- ✓ 他大学との交流には対面がいいので。
- ✓ 発表だけでなく、多くの課題に対して様々な方々と情報交換できるという意味でこういう研究会は大事だと思っているので、やはり現地開催が必要だと改めて感じました。
- ✓ 聴衆としてはWeb会議は良いですが、発表者としては会場の方が良いと考えます。また、参加者との交流の場としては、Web会議では難しく、この点では会場が良いと思います。
- ✓ 全部は出られなくても、一部でも参加できると良いと思います。
- ✓ 会場で参加すると臨場感があるため
- ✓ 地理的障害がないので、Web開催はよいが、雑談から生じるアイデアなどもあるので、現地でのコミュニケーションもあったほうがよいと思うからです。

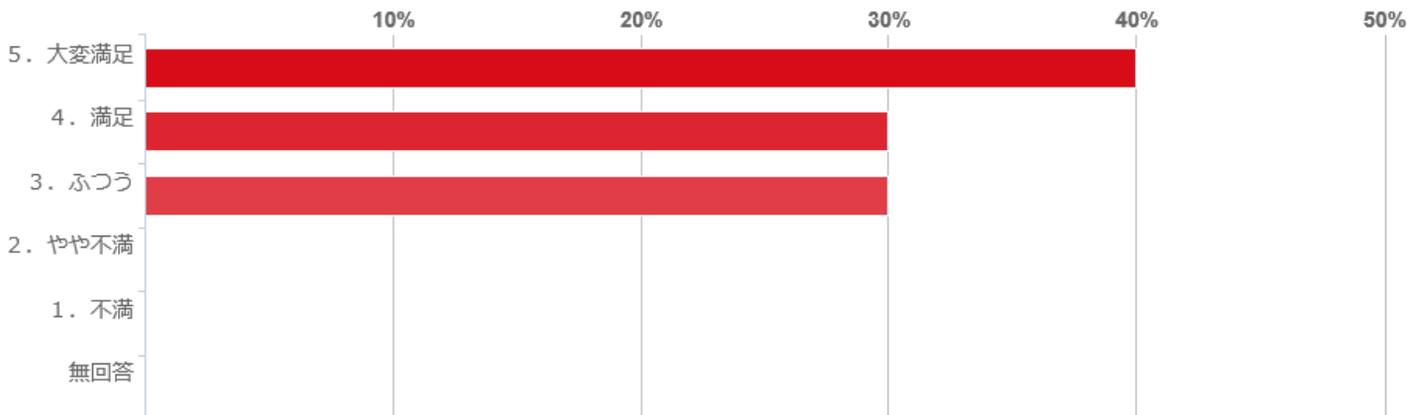
【Q7】本日の「プログラム内容全体」についての満足度をお選びください(5点満点)



【Q8】上記のような評価をされた理由を、具体的にお書きください。

- ✓ 興味のある話が聞けました。
- ✓ 基調講演があった方がよかったから。
- ✓ 部分的にしか参加できませんでしたが、参加したプログラムは大変参考になりました。
- ✓ 発表の機会をいただきありがとうございました。
- ✓ 内容については充実していた。
- ✓ 過不足なく、順調に進んだため
- ✓ 皆さんの発表は有益でした。
- ✓ 音声も明瞭で、PC上の画像もきれいに見えました。
- ✓ コロナ感染の情勢のなかで、このような開催方法でも想定の効果達成できていることに満足しています。
- ✓ 複数の大学のシステム更新に関する話が聞いて興味深かった。
- ✓ 内容が充実していたと思うからです。
- ✓ 参考になった
- ✓ 必要な情報が得られたので。
- ✓ 一方向のセミナーみたいな感じが強かったです。
- ✓ 論文発表、事例報告と、バランス良く件数があったと感じています。

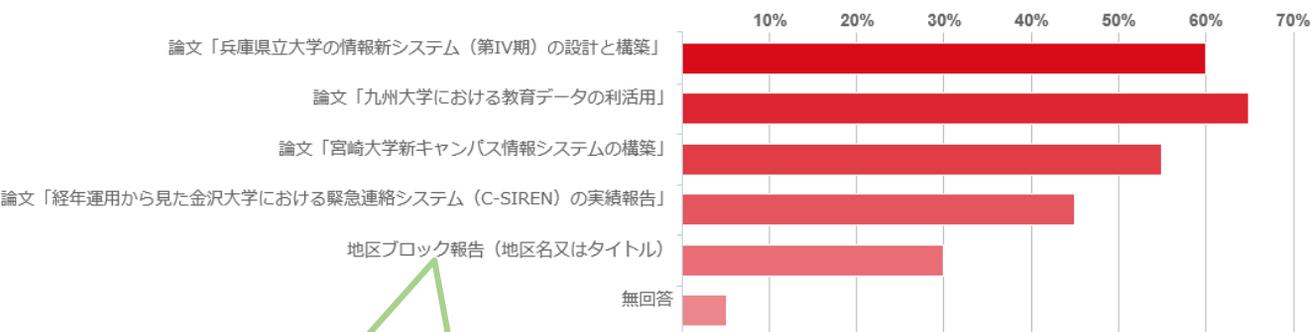
【Q9】本日の「プログラムの時間配分」についての満足度をお選びください。(5点満点)



【Q10】上記のような評価をされた理由を、具体的にお書きください。

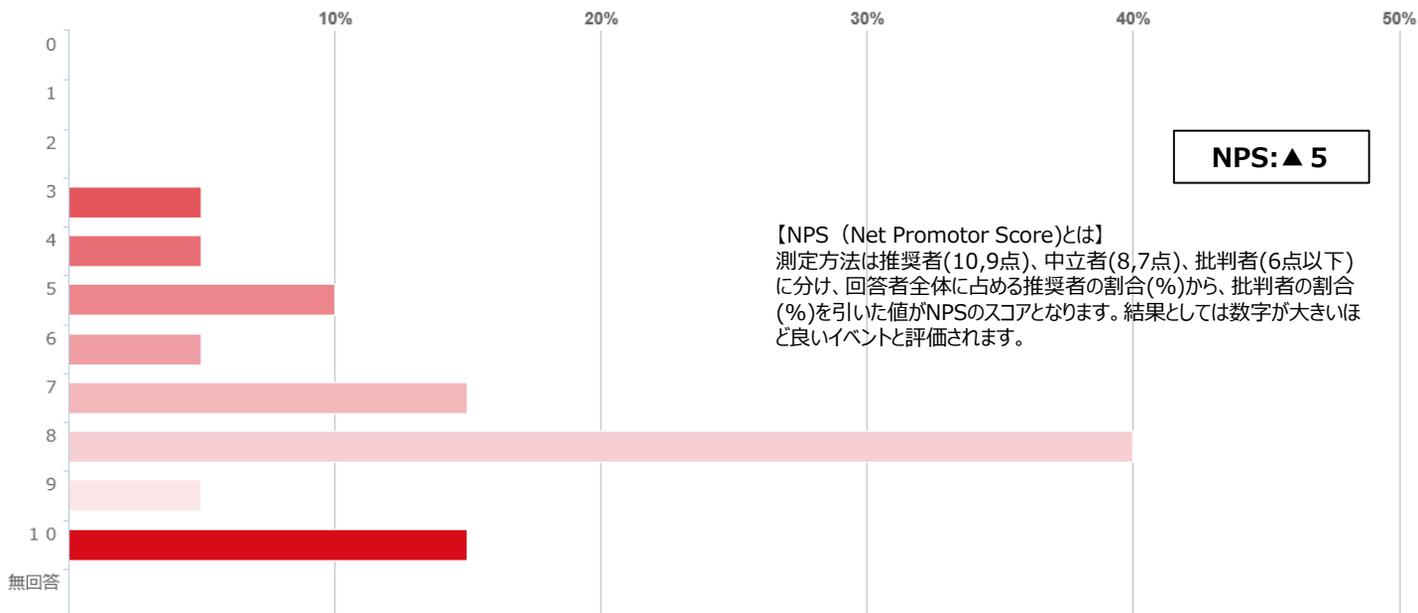
- ✓ 適当だと思います。
- ✓ 数多くの話を聞けたから。
- ✓ 日程が2日から1日が短縮され、伝えたいことのみ発表することができたため。
- ✓ ちょうどよかった。
- ✓ 発表時間は、これくらいがちょうどよいと思う
- ✓ 全体としてはやや長かったかもしれませんが、個別にはそれぞれちょうどよい時間でした。
- ✓ 普段の研究会のタイムキーパーの効果と遜色しない効果を実現できました。
- ✓ 内容に対して長さのバランスがちょっと悪い(短かすぎる or 長すぎる)という印象があった。
- ✓ 問題なかったと思います。
- ✓ 妥当な時間と思います
- ✓ 問題なくスムーズに進められたので。
- ✓ 発表時間を減らし、質問時間を増やしたほうが良いのかと思いました。
- ✓ 講演自体も縮退プログラムとなってしまいましたが、コンパクトな感じで、集中できたと感じています。

【Q11】有益又は、参考になった発表を教えてください (複数回答可)



- ✓ 九州
- ✓ 全て
- ✓ 山形大学の発表
- ✓ 近畿地区、北海道地区など
- ✓ 九州
- ✓ 九州地区

【Q12】今回の総会を、どのくらい他の人に推奨したいとおもいますか？0(おすすめしない)～10(おすすめしたい)



【Q13】上記のような評価をされた理由を、具体的にお書きください。

- ✓ ここでしか入手できない情報が得られる。
- ✓ 興味ある情報を収集できたから。
- ✓ 遠隔からも参加できる
- ✓ センター系の学会発表は他の分野とは毛色が異なり、大変興味深かったため。
- ✓ 他大学の状況を知るのによい。
- ✓ 実務レベルでの、実経験に基づく発表・報告は貴重なため
- ✓ それぞれの発表が有益であったため
- ✓ 出張できないセンターの技術職員にも参加させたいです。
- ✓ 他大学にも参考になっている内容だと思います。できれば、VODでも公開できればと思います。
- ✓ 大学情報システムにかかわっている人にはいいと思うため。
- ✓ web開催が新鮮で意義のある試みと思うからです。
- ✓ 必要な情報が得られること。他大学との交流。
- ✓ 情報環境システム導入の事例を知ることができて、大変勉強になります。
- ✓ Web開催なので、情報集取にはとてもよい機会だから

【Q14】本日の総会の発表で得られた成果(疑問や課題等含めて)をお書きください。

- ✓ 各大学の状況がわかって有益でした。
- ✓ 学習分析を行うにあたって、同意書や倫理委員会の必要性について、自分でもやっているの。
- ✓ Web会議でも問題ない
- ✓ Web会議も有用であること
- ✓ CS研の活動についてはあまりよくわからなかった。
- ✓ 当方でもシステム更新を控えているため、色々参考になった

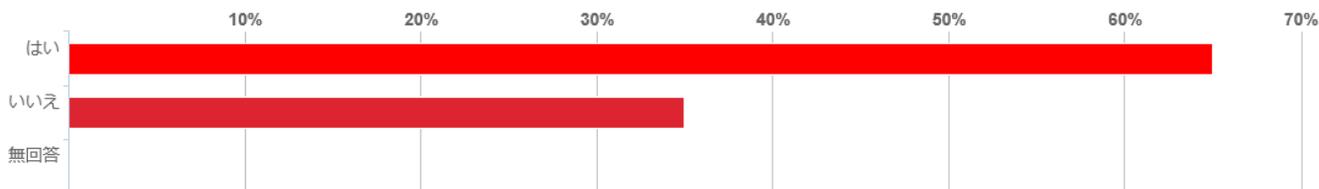
次ページへつづく

【Q14】本日の総会の発表で得られた成果(疑問や課題等含めて)をお書きください。

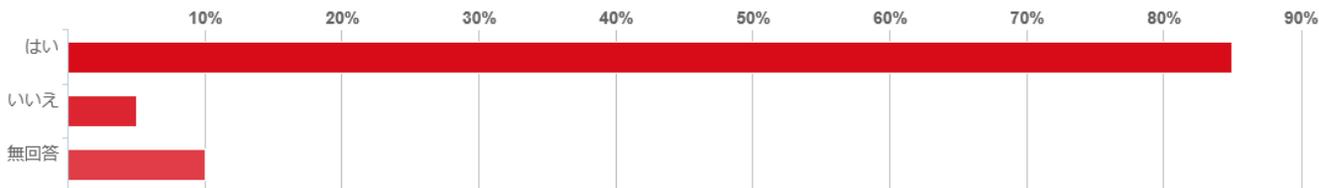
前ページからのつづき

- ✓ 今回の開催の不足点といえば、会員間の交流が足りなくて、やむを得ない原因もありますが、今後改善できればと考えています。
- ✓ 多要素認証・二段階認証の導入が進んできているので本学も早急に対策が必要と思われた。本学の安否確認システムは運用や回答率の改善などについて検討が必要と感じた。
- ✓ 兵庫県立大学で、複数拠点あったファイアウォールを一か所にまとめたこと。九州大学にLAセンターがあって活動していることなど。
- ✓ やはり、システムの更新系の話はもはやベンダの仕事でセンターの存在意義を別の新たなところで見出していく必要があると感じました。
- ✓ センターサービスとして、「オンプレミス」or「クラウド」という課題について、勉強になりました。

【Q15】これまでにあなたは同僚や他人にIS研のイベントへの参加を勧めたことがありますか？



【Q16】今後、機会があれば同僚や他人にIS研のイベントへの参加を勧めますか？



【Q17】IS研について、「こういう風になると良い」「もう少しここをこうして欲しい」等のご意見ご要望がありましたら、自由にご記入ください。
例) イベントの内容、会の進め方、推進体制、事務局運営、等

- ✓ 富士通からの提案等は、もっとあってもよいと思う。また、発表に対しては、富士通からも質問等あってもよいと思う。
- ✓ 大変お世話になりました。ありがとうございました。
- ✓ IS研のブロック会議など、今後WEB中継などができればより皆様の活動の意義と成果を広げられると思います。
- ✓ システム更新した大学は発表して、情報共有してほしい。
- ✓ 大学は常に先進的であるべきだと思っていますので、もっと時代に即したテーマにしたらよいと思います。また、先進性を問う代わりに、運用性を重視したテーマでもいいのかと思いました。今回の発表はどちらも中途半端な感じがしました。IS研は論文発表の割に報告会のような印象が強いです。IS研の存在意義を見直す時期に来ているのではないのでしょうか？
- ✓ 総会以外にも、何かイベントがあると良いかと考えています。今年度は、北陸地区では「富岳」工場見学で、「集客力」があることがわかりました。何か、同様の企画があると良いかと考えます。

4. 参加申し込み状況

・IS研会員 [15校27名] ・オブザーバー[9校10名] ・富士通関連[2社49名] ・総数[86名]

IS研会員校		オブザーバー		富士通関連	
室蘭工業大学	1	大阪工業大学	1	富士通株式会社	47
山形大学	2	学校法人 佐野学園 神田外語大学	1	株式会社PFU	2
横浜国立大学	1	九州産業大学	1		49
金沢大学	5	国土舘大学	2		
北陸先端科学技術大学院大学	1	学校法人芝浦工業大学	1		
愛知教育大学	1	城西大学	1		
大阪教育大学	2	清泉女子大学	1		
大阪府立大学	1	学校法人福岡女学院	1		
兵庫県立大学	2	明治大学□	1		
奈良女子大学	1		10		
九州大学	3				
長崎大学	2				
大分大学	3				
宮崎大学	1				
鹿屋体育大学	1				
	27				

WebEXアクセス数

・IS研会員 [24] ・オブザーバー[5] ・富士通関連[42] ・総数[71]
 ※ 1つのPCを複数人で視聴している場合、上記アクセス数には含まれません。

事務局所感

今回、急遽Web開催に変更となり、世話人の皆さまや発表者の皆さまに事前のテスト含め、大変ご負担をお掛けしましたが、皆さまのご支援により無事終わることが出来ました。アンケートにありますように、Web開催に関しては非常にニーズが高いと感じました。ただ、一方、交流を求めている方も多くいらっしゃる事が分かりました。来年度はリアルとWeb、両方開催出来るように準備したいと思います。

また、今回論文もいつもより多く集まりました。改めて世話人の皆さまに御礼申し上げます。まだ査読など作業も続きますが、引き続き来年度もよろしく願います。